伯西爾日報

發行所 伯西剌爾時報社
聖市ファグンデス街一九六
電話七一四六七〇
社長 黒石清作
購讀料（一ヶ年 六十圓 半ヶ年 三十圓）

珈琲 サンパウロ 一キロ 二四、六〇〇 リオ 一キロ 一九、五〇〇
爲替 請求日 四、六七〇
爲替 請求 金 五、五七〇
爲替 請求 米 一九、七七〇
爲替 請求 英 八〇、〇一〇

# ユ、希兩國へ神速獨軍疾風の進擊

## ベオグラード 二十キロ 地點占據 第一期作戰の完遂近し

【ベルリン九日同盟】信ずべき筋よりの報道に依れば、獨軍のギリシヤ、ユーゴー作戰は豫定通りに進行中で、兩三日中に第一期作戰を完了するものと信ぜられてゐる

ユーゴー戰では有力部隊がブルガリアより南セルビアの山岳地帶を强引に突破して二日間で約百キロを進擊し、既にスコプリエを占領、更にヴアルダル河に沿ひ、アルバニア國境方面に殺進中であるが、既にアルバニアより四十キロの地點に達した模樣である、一方ルーマニアよりドナウ平原地帶を進軍する部隊は、ベオグラードを目指してゐるが、既にベオグラード迄の廿キロの地點を占據、一南日中には同市に達する筈である、一方ハンガリーよりの部隊も着々前進中だが、ブルガリアとアルバニアとの聯絡が兩三日中に完成すればユーゴー、ギリシヤは完全に聯絡を斷たれた上、三方からアドリア海岸に追詰められ、全軍包圍殲滅の運命に陷る事とならう、他方ギリシヤでもストルマ溪谷を前進中の獨軍は、豫定の如く着々戰果を擴大し、漸からずサロニカ方面に到着し、ギリシヤ全土を壓斷し、アルバニアよりのイタリア軍及び南セルビアより殺下する獨軍有力部隊に依り、全面的包圍を受ける事とならう、然して倒すべき筋の情報に依れば獨軍のユーゴー、ギリシヤ作戰は現在の情態を以て進めば、六、七週間、最も不利な情況に陥つても二ヶ月内に完成するものと豫想されてゐる

## ユ軍包圍殲滅の危機迫る

## タンク落下傘相呼應 敵軍を窮地に追込む

セルビヤ方面で獨軍莫大鹵獲品

【伯林八日發】（TO電）ユーゴー國内セルビヤ地方にある獨軍は急襲を續行してゐるが、獨のタンク隊は空中より落下傘部隊と相呼應敵軍を窮地に追込み多大の戰果を擧げてゐる、同地帝にあつたギリシヤ軍第七師團は完全に包圍され、武器、彈藥、タンク、重砲等多數を鹵獲した

## ユ、希兩國遮斷作戰進捗

## ユ軍根據地ニシ市占領

【伯林八日發】（UP電）ブルガリアのストルマ河よりユーゴー國境を突破した獨軍は二隊に分れ一隊はユーゴー内ヴアルダル河に達し同河岸沿ひに北上、スコプリエ市向け進擊、他の一隊は既にギリシヤ國境のロトーベ山脈に沿ひ西進中であり、ユーゴー、ギリシヤ兩軍の連絡遮斷作戰をとつてゐる、一方ルーマニヤより進擊した獨逸軍はユーゴー國境ダニューブ河を渡つてテキヤ市を占領、首府ベルグラード迫る僅二十キロに迫り他方セルビヤ南方へ向つた獨軍はユーゴー軍の根據地たるニシ市を占領した

進擊の獨軍はサロニカへ七キロの地點に迫り目ドルキス附近に於て英國、ギリシヤ聯合軍と交戰中である

一、西トラキア地方に在るギリシヤ部隊は全く重包圍に陥つた

一、ギリシヤ軍主力は、ヴアルダル河以西に新に防禦陣地を布き、抵戰を續ける事となつた

一、ストルマ溪谷よりヴアルダル溪谷方面へ向つて進擊中の獨軍は、キルキス附近の獨軍と合流せんと企圖してゐる獨軍は空中より落下傘部隊と相呼應敵軍を窮地に追込み多大の戰果を擧げてゐる、同地帝にあつたギリシヤ軍第七師團は完全に包圍され、武器、彈藥、タンク、重砲等多數を鹵獲した

## ユ、希兩國遮斷作戰進捗・ユ軍根據地ニシ市占領

## ヴアルダル河以東トラキヤ一帶獨軍占領

【アテネ八日同盟】ギリシヤ軍司令部發表

一、ヴアルダル溪谷に沿つて獨逸軍はエジプトまで進み、之をも制壓するであらうと。

ユーゴー政府は、既にベルグラードを逃亡してゼムン市に移轉した、ユーゴーの國際員は完了して、目下百萬の戰線が戰線に向つてゐるが、武器の不足と交通機關不備のため所定の戰場への出動に一大支障を來してゐる。

メルカンへ出動した獨逸兵力は千七百機の空軍、三十個師團の歩兵、五個師團の機械化部隊と、その外ソフイヤ、ヴイナ市に約千七百の空軍が待機してゐる。

## 時々話題

ユーゴー、ギリシヤ攻略目的に關し、獨政府當局は次の如き發表を行つた。

一、バルカン方面にある英國勢力を歐のノールウエー戰に於るとの樣に關逐せんとするものである

二、地中海よりスエズ運河に至る英の生命線を切斷するヒットラー總統の聲明によれば、今回のユーゴー、ギリシヤ進擊には、海軍の一部歐力を割向けたものであり、英本土攻擊に備へてる兵力は少しも使用してゐない、而して獨逸は現在海運せる兵力のみでバルカンを制壓し、獨逸んで北アフリカ、地中海方面をも機軸勢力下に入れる目論がある、最後に獨逸軍はエジプトまで進み、之をも制壓するであらうと。

ユーゴー政府は、既にベルグラードを逃亡してゼムン市に移轉した、ユーゴーの國際員は完了して、目下百萬の戰線が戰線に向つてゐるが、武器の不足と交通機關不備のため所定の戰場への出動に一大支障を來してゐる。

メルカンへ出動した獨逸兵力は千七百機の空軍、三十個師團の歩兵、五個師團の機械化部隊と、その外ソフイヤ、ヴイナ市に約千七百の空軍が待機してゐる。

## 米の國防費支出 三ヶ月間に十八億弗

ルー大統領 記者團に數字發表

【ワシントン八日同盟】ルーズベルト大統領は八日記者團との會見に於て國防費並に國防經費として國防生産管理局が財務省から支出を受けた過去の數字を次の如く發表した

一、一九四一年一月より三月に至る三ヶ月間國防生産管理局が財務省から支出を受けた金額は次の如くである

航空機、西鮑、兵器費一億九千七百万弗
新上陸部隊費二億四千万弗、基地、駐屯地、要塞費五億五千万弗

備考 大統領は、これ等の數字が米國の國防計畫の進捗情況が滿足すべき狀態にある事を意味してるものではなく國防計畫の進行は余りにも遲々としてをり、一層促進される必要があると附言した

理局に對する財務省支出は十八億弗に達し、これを一九四〇年後半期の十四億に比較すると、四億弗の增加である

一、この内主なる內訳は

## 赫々たる御功績殘されし 伏見軍令部總長宮殿下・御離任遊ばる

## 後任軍令部總長に永野大將決定

【東京九日「盟」】伏見軍令部總長宮殿下には、昭和七年二月御就職に御就任以來御在職九年の長きに亘り、帝國海軍最高機務に御盡粹、幾々不滅の輝く御功績をあげさせられたが、九日を以て御離任遊ばされ、後任總長には軍事參議官永野修身大將と決定、銀補式は同日午後四時半宮中鳳凰の間に於て近衛首相奇立の上行はせられ、同五時海軍省は左の如く公表した

海軍省公表九日午後五時、本日左の通り銀補せられたり

海軍大將 永野修身

補 軍令部總長

元帥海軍大將博恭王殿下には本日職を免ぜられ、軍事參議官永野修身その後任に銀補せられたり

博恭王殿下は昭和七年二月以來帝國海軍の最高首脳部に親し、九年二ヶ月餘の長きに亘り軍令部長の要職にありて軍務に御精勤あらせられし所、最近特に御憂慮を申上る程度にはあらざるも、御健康稍すぐれさせられざる爲め、軍令部總長を免ぜられ、此の際暫く御靜養あらせられる事となれり

（寫眞は永野大將）

## 稍〻御健康損はせられ 暫く御歸養遊ばさる

軍令部次長謹話

【東京九日同盟】軍令部次長伏見宮博恭王殿下には昭和七年二月長く軍令部總長の重職に御就任あらせられてより已に十年になんなんとし、常時御職務を御輔弼せられ、その間御渝なき御健康は稍〻御疲勞の御樣子に拜し給ひ、父歐州戰爆勃發後は殊に御職務複雜繁劇なる御職務を完うせられたる事は誠に我々海軍人の感動おくあたはざりし所なり、御職務こゝに四年殿下には最近稍〻御疲を損はせられ、御心配申上る御樣子には拜せざるも、この上御御務に携はせらるゝは誠に忍び難き所なるを以て今暫く御靜養あらせられ

專らご御療養にありて軍令部總長の任に當らせらるゝことなりたる次第なり

## 米・ユーゴーへ武器援助開始か

第一回輸送船某港で出帆用意

【華府八日發】（UP電）本日、聖市附近の港に於て輸送を終り將に出帆せんとしてゐる、第二回目は米國最新式武器を積載し英國に於て最近

焦眉の急務

# 軍機械化の急速發達
## 陸軍機甲本部創設さる
### ―九日官報で公布―

【東京八日同盟】陸軍では、近代戰に於ける軍機械化の重要性にかんがみ、今次事變以來これが急速なる進展を圖つて來たが、今回更に軍機械化の飛躍的發達を期し「陸軍機甲本部」を創設し機甲部隊に關する現業事務並びに教育事項一切を管掌せしめる事に決定、九日の官報を以て同本部令を公布、十日より實施する事になつた。同本部長は以下の人員も十日發令される

陸軍機甲本部令要點

第一條　陸軍機甲本部は、機甲部隊及び騎兵部隊の教育上、當該兵種專門に關する事項、陸軍戰車學校、陸軍騎兵學校及び陸軍自動車學校に關する事項並びに戰車（裝甲車を含む）、彈甲車及び自動車の整備の基本に關する事項を司り、且つ機甲部隊、騎兵部隊及び戰車を主體とする諸兵聯合の部隊並びに戰車、彈甲車、自動車及び自動車燃料の調査及び研究を行ひ、その進歩を圖る處とす

（第二、三、四、五條略）

第六條　本部長は、陸軍大臣の命を受け、戰車及び所管學校に關する事項、彈甲車、自動車の技術に關する檢査を行ひ、並びに戰車、彈甲車、自動車の取扱及び保存に關する指導を行ひ、其成績を陸軍大臣に報告し關係長官に通報するものとす

第七條、本部長は、教育總監の命を受け、教育上の主管事項に關し、機甲部隊及び騎兵部隊を指揮し、之に關する訓練を計劃し、又は公表を行ひ、且つその成績を教育總監に報告し、關係長官に通報するものとす

第八條　本部長は、陸軍士官學校を巡視し、機甲部隊及び騎兵部隊所屬の學生及び生徒の教育に關し、意見ある時は、これを教育總監に具申する（以下略）

## 機甲本部創設に伴ひ
## 陸軍省官制一部改正

【東京八日同盟】陸軍では機甲本部創設に伴ひ、陸軍省官制の一部を改正、九日の官報を以て公布する、改正の要點左の如し

一、兵器局は現在機械課、統砲課の二課であるが、更に器材課を設け三課とし、事務分擔を變更し、機械課は戰車、彈引車、自動車、及び自動車燃料を制式、支給、交換、徵達、整備及び拂下げ、並に之に關する經理事項を司り、新設の器材課は器材、輜重兵器科學戰資材に關する事項を管掌する

二、これと共に燃料政策課を廢止の爲、整備局の資源課を廢止して燃料課を新設し、燃料政策一般に關する事項、海外の燃料資源に關する事項、燃料の調査及び研究の基本事項、燃料工業の指導及び補助、監督の方法に關する事項を管掌し、又從來資源課に於ける燃料以外の事項は整備課に移され、工政課の事務分擔も若干改正される

## 全國地方長官會議

【東京九日同盟】全國地方長官會議第二日九日は內務省に關係官、奧田平沼內相より日蘇支三國間の基本條約の締結、泰國と佛印との國境紛爭の円滿なる解決、歐洲大戰の停止する事を知らない擴大等、帝國を繞る複雜多難且つ險惡な情勢に言及し、此の秋に當り、荷くも國內體制に間隙を生ぜしめざる事を要望し、此の窮迫せる時局下に於て國內體制を整備し眞の一億協力を具現する爲には、農に

## 國內體制整備を要望
### 九日平沼內相訓示

決定を見た內閣の改造に依る政治力の强化、大政翼賛會の改組擴充に依る今後の戰時財經政策並に糧穀運動の推進を强調し、地方長官としての心構へに付き留意すべき點を力說し、一層の協力を要請した

## 全國に防空公園
### 考幼女子に「いざ」の訓練

【東京發】時局の緊迫に鑑み立派に行はれ貧慾のないやうし防空施設と秩序ある老幼婦女子の避難訓練が各方面から强く要望されてをるが、如何に完備した防空施設があつてもいざといふ場合、防空防火に活躍する當局者や團體の足手まとひとなるやうな婦女や老人兒童たちの平常の訓練がなつてをらねば實際に直面し必ず大混亂の惨狀を惹起するだらうと憂慮されてをるが厚生省では內務省の防空總本部と急遽に呼應し人命尊重の保護といふ大きな見地から母性、幼兒、小學生などを空襲の惨禍から護るため早急に特別の訓練を實施し得る防空訓練公園を主眼とし同時に體力向上の體育施設を兼ねた大小廣場を全國主要都市に五百五十ケ所建設する大計畫を樹立し、施設課の技術官が具體的設計に着手した

當局の意圖によれば大體東京、大阪、名古屋、橫濱、京都、神戸、老九州地帶、札幌、小樽、新潟、富山、その他重要都市當局をして五百坪以上三千坪及び一万坪の大小廣場を万難を排して十六年度に急速に整備させ、これに對し補助金を內務省及び厚生省から出す計畫で、內務省は十六年度分約三百万円、厚生省は防空總本部訓練と體育運動施設補助卅万円をそれぞれ支出しようといふわけである

## 飛行機の教室

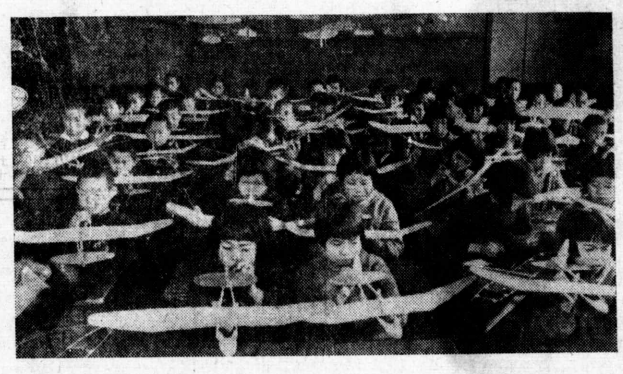
支那大陸の空を縱橫無盡に長驅するわが帝國をはじめ、歐洲大戰で目覺しき活躍をするドイツ、イタリー空軍の威容や太平洋橫斷定期旅客機クリッパー等と、今や世界は擧げて航空時代である、戰爭ばかりでなく、經濟も文化も時代は空へ空へと移行しつゝある從つて各國は躍つて無數空軍建設を目指し、老いも若きも總ての目は空へ注がれ、翼の羽ばたきプロペラの高鳴りに新たな感激を覺えるやうになつた

この飛行機こそ、子供達の憧れの的となり、大陸への關心は期せずして彼等の小さい胸に小型模型飛行機製作意慾を起させたのでもある

この小型模型飛行機を五年前から他校に率先して手工科の教材として、航空思想の普及につとめてゐるのは、東京市足立區千住第三小學校で、この學校では尋常一年生の折紙の飛行機から、二年生のキビガラ細工の飛行機、三、四年生の曳行グライダー、五、六年生のゴム動力つき小型機並に各自の設計になる大型グライダーの製作と、男女全校生は模型飛行機を教材にして實地教授を受けてゐる

氣流に關する知識、滑空の原理、初歩の航空理論と、生徒は正確に航空知識をつかんで卒業するので、同校からは何人かの少年航空兵、飛行機製作所の優秀な技術者を送り出しつゝあるといふことである從つて模型飛行機大會にはいつも優秀な成績を擧げ、都下の學校をアッといはせてゐる

（寫眞は同校教室）



# 日伯片貿易是正論
## （五）

機關に一については、既に議論の餘地なきものゝ如し

無用の武裝はいがみ合等の僅々錢々が、年に買ひ集める莫大の費用を防止し得るだけの消極的價値だけにしても、その事の必要は明らかであるが、更に積極的に貿易增進策としては、その積極的効果並び甚大と云つてよい

之を具體的に言つて見れば貿易組合中央會の貿易斡旋所、拓務省の出先商業機關も外務省通商局系統の商業會議所も――その貿易補佐の機能部分だけ――各輸出入組合の出先も打つて一丸となさる可きである

ブラジルに關する限り、斯くする事に依り、及び現在無用化してゐる色々な補助金の整理に依り、必要なる經費は現存するものと想像されるが、左なくとも國家進出に資する爲めに、國庫の新支出も亦躊躇すりらざるものである

統一なき場合、こんな些細な點にも損失がある。即ち、各商社各組合、又は國策團體の個々錢々が、年に買ひ集める莫大の費用は、その額何万円かは知らないが、之を一つの手に集めれば、相當額の節約となるし、同時に商工省貿易局の附與する見本補助金に依り、日本の商社及び團體が諸外國に送り出す見本も巨額に上り、それがまち〳〵と統一なき爲め、同一商社見本が同一場所へ數店より差立られて來る場合がある

### 特殊金融機關

當替銀行としては、橫濱正金銀行リオ支店にて事足る。併し貿易の階梯的助成金融の爲めに、夫自身貿易リスクを負擔し、必要なる經費は、立ちどころに集まり得るものと考へる。現存する三邦人銀行を中心に此の費を進めれば、金融機構であり、且成功の三つの邦人銀行、海興銀行に必然性を與へるものである

米國にシティナショナル及びクレースナション等と比較して總資十八億弗（？）と稱せられるバンク・オブ・イタリーは、四十年割は微々たる田舍銀行であつた、此吾等志ざす日本の金融機關が貿易商に邦人の生活を助成する上に且はブラジル人自身の產業開發の上に、どれだけの貢獻をなすであらうか

私は、對伯貿易を二億とし、三億とする上に最大の力たるものは、此の金融計畫に內包されると斷言するものである

### 商品陳列即賣館

愛に言ふ商品陳列即賣館は見本市及び展示會等の無應で永久化したものゝ意味である。見本を潤沢に具し、少額のストックを有する場合、取引關係が即席に成立するは、吾等の實驗する所であるが、商品陳列館とは、その延長上であつて、殊にブラジルに二、三の街頭進出は望ましいのである

商品陳列館は、既成商人の邪魔になると考へる人があるが當らない。商品にして新味を有し、市場に初見への物を主として經營が進み、その地方に一定品の取引店が出來た時に、その商品を陳列館から撤去する事にすれば、競爭惹起の非難は無いのである。同時に時々耳にする商品館で見本賣する爲めに、地方商人を傷めるとの苦情も亦起り得ないのである。商品館の即急なる實現を見たいのは、日本の七、七製品分の對策と睨み合せて積へれば愈々その必要が解る

組織としては、一市の適當なる地點に店舗を有し、店員を置くこと普通の商店の如くし、そこに新進出希望の商品を備へる、展示商品を商品館へ依託品とするか、商工省貿易局あたりの買上品とするかは、あとの研究に俟つとして、成可市場性發見の爲めの商品たる可く、機械あり、機具あり、七、七製品あり、雜品ありで進む可きである。

資金としては一ケ所十万円もあれば創まり得、且經營は利益金を以つて充當する心で行けば可能と考へるのである。政府が貿易低に支出する資金は巨大額に上るが、此の計畫の費用支出は、別にその一小部分の割讓に依りて創まり、先づブラジルに試みる効果に依り、それを他に及ぼす事も出來、或は全地域に擴張する地に應用を見る程度に發展するかも知れず、少くとも貿易進展上の一重要布石でもあると斷言したい

――――

### 日本が金融機關を設け補償、又は年利何分

ケ月、六ケ月の支拂條件を與へ得たらんには、その進出見る可きものあるを想像し得る、而も斯くする事は、獨逸が對米貿易上、當方商人を買價付けたものであつて、必ずしも商人クレヂット低きが故にと言ふにあらざるは論なし

政府當局の如きもそれであつて、納入期より半年延位延期支拂となるは普通であり、給となれば、三年、五年、十年と賦となることすらある。それでも米國はそれを資つて出る用意があり、獨逸もは日本輸出入銀行と連繫し、東京本店はブラジル店の損失なす品物に對しても、若し三ケけるには、資金輸出を保證すと言ふが如き要せずして、比較的容易なる實現方法がある

サンパウロ州には、在留邦人約二十万、新く銀濟的實力も顯著で、その動員し得可き資金數千万円、その中約九百万円（邦貨）が、現在サンパウロ市內米銀行（ブラ拓銀行）東山銀行、海興銀行の三つの邦人銀行の手に預金されてゐる。若し日本政府の國策輸出入銀行が本店を東京に置き、ブラジルの日本南米銀行又は日本輸出入銀行と連繫し、東京本店はブラジル店の損失を助成する上に邦人の生活を助成する上に且はブラジル人自身の產業開發の上に、どれだけの貢獻をなすであらうか

私は、對伯貿易を二億とし、三億とする上に最大の力たるものは、此の金融計畫に內包されると斷言するものである

### 商品陳列即賣館

愛に言ふ商品陳列即賣館は見本市及び展示會等の無應で永久化したものゝ意味である。見本を潤沢に具し、少額のストックを有する場合、取引關係が即席に成立するは、吾等の實驗する所であるが、商品陳列館とは、その延長上であつて、殊にブラジルに二、三の街頭進出は望ましいのである

商品陳列館は、既成商人の邪魔になると考へる人があるが當らない。商品にして新味を有し、市場に初見への物を主として經營が進み、その地方に一定品の取引店が出來た時に、その商品を陳列館から撤去する事にすれば、競爭惹起の非難は無いのである。同時に時々耳にする商品館で見本賣する爲めに、地方商人を傷めるとの苦情も亦起り得ないのである。商品館の即急なる實現を見たいのは、日本の七、七製品分の對策と睨み合せて積へれば愈々その必要が解る

組織としては、一市の適當なる地點に店舗を有し、店員を置くこと普通の商店の如くし、そこに新進出希望の商品


KANAKAO S/A
肥料、農具
藥品、ニカワ
カナカオ化學工業株式會社
サンパウロ市テオドロ・サンバイオ街二七七六番
郵函　二一一八六
電話　八・二五八七
支店　イタブラ・デ・ミランダ街一七
電話　二・六六三七

BANCO AMERICA do SUL LTDA.
CAPITAL 1.000:000$
南米銀行
特種定期預金
積立
据置
利子毎月拂
支店
アラサツーバ
ブロミシソン
ボンペーヤ
パマリ、トヤ
ルツルテン
リベンプレート
バスト、ヤ
ロンドリーナ
チエステ
ペラクアスー
リオ・グレート
オウリンニヤス
ランシヤリヤ
本店 S.PAULO=PRAÇA DA SÉ.393. C.Postal.555. Tel.3-5161

◇棉作募集◇
拾家族
アレンダー、アメイヤ、ホールマ、孰れにても希望に應ず
資金不足の方には金融も致します
本年の棉花豫想は
塲所
アルケール三百アローバ
ソロカバナ線アグードス驛
ドーナ・アメリヤ町
乘合自動車
アグードス驛より一日四往復二時間半、セルケーラ・セザール驛より一日二往復二時間（ぶえのすの丸第拾二航海の者尙よし）
小森盛之助
Seimosuke Komori Dona Amelia
Est. Agudos E.F.S.Sao Paulo

パ延長線土地賣却
位置　ツバン附近カナンゾーナ・ダ・マーツタ
地主　ドトール　レーリヨ・ビーザ氏の土地
各所　シャーカラ市街地等年賦拂、無利息至極好條件を以て御世話致します
借地農への福音
ツバン市を距る事八キロメートルの原始林にして三ケ年契約募集致します
御問合せは左記へ　事務所ツバン市　旅館ツービ內
小川武夫　橋村師兵

風呂及釜
ブリキ細工
都會は弊店製に限る衛生に經濟に又水製より强く大衆向きであります駒場ブリキ店
「ンデ・デ・サルゼーダス六七

Proprietario Fazenda Brasilia
急告
借地農者
地主　フアゼンダ、
位置　キンターナ驛
面積　二千域
地味　肥沃にして万作に
施設　教育、衞生、賣店の設
借地料　原始林　三百五十釘
貳年作地（五百域）三〇ポルセント
契約期間四年、凡て事務所に於て契約す
特典　入植當時より域につき四百釘のホルネシア有り
キンターナ驛より二十五キロの地點、ノロエステ側に沿ひ一千域賣出地あり
マリリア驛前澤尾ホテル內代理人
大島隆治
キンターナ事務所代理人　芹川

一見すればきつと買ひたくなる土地賣却
スキツサ耕地主マックス・ウイルト氏所有地、二万五千域中その一部、賣却引受
地權
位置
何も申上ぐる必要のない程確實ですゾーナ・デ・マツト入口地帶、リオフエイオ側ツウバンより新直遙道路にて卅キロ米突、リノポリス植民地及スキツサ耕地支配人エルネスト氏珈琲耕地の隣接、パウリスタ延長線豫定驛カリフオニアより八キロ米突內外
地質　パウダリヨ地帶
地積　三千域
地價　壹コント二百釘
支拂方法　四ケ年賦拂、無利子
マリリア市アルコヴエルデ街一二〇番
電話四二八三番　郵函E
大家直吉
長谷川粂
岡山長次郎
林旅館內
ボンペイア市
トツバン町　隅久

# 伯國大統領へ菊花大綬章傳達式

## その日喜びのリオ・ネグロ宮

## 八日嚴かに執り行はる

天皇陛下より態々ヴアルガス大統領に對し、菊花大綬章御贈與の御沙汰あらせられた事は既報の如くであるが、この榮ある傳達式は、去る八日午後リオ・ネグロ宮に於て嚴かに執り行はれた

この日駐伯石射大使は、大統領官邸リオ・ネグロ宮に向ひ、イツサク・クーニヤ司令官の案内にて、貴賓室にに

(寫眞はヴアルガス大統領と石射大使)

にその日の光榮を待つヴアルガス大統領に對し、感謝なる挨拶のち、輝く菊花大綬章の傳達を終へた、石射太使はその際、天皇陛下の大御心を御傳達し得る一身の光榮これに過ぎず

厚なる御敬意を傳達せられ度き旨を述べ、併せて菊花大綬章こそ、日本帝國に於る最高榮譽の表徴である旨を、同大使に懇切なる御この傳達式と同時に、美事な羊皮紙に認められた天皇陛下の親書も傳達された式終つて石射大使は、狙撃兵の意を表し、

天皇陛下に對し奉り、深

第一大隊の最敬禮を受けつゝ同大隊バンドの日伯兩國國歌吹奏裡に、リオ・ネグロ宮を退出した

(寫眞はヴアルガス大統領と石射大使)

## 息子よ何處に居る

### 今年五九のウチワ太鼓

### 一昨日とうく警察へ

ビメント將軍以下各將星ト共　ぎない

眠剤—今度は方向を變へたウチワ太鼓の氣狂ひが、去る八日の眞晝時、邦人街の眞中へ現れ、例のトコトンを始めたが、人通りの頻繁な時間として眞黑な群の人だかり、處へ突然警察の車が來て、丁度某邦人旅館へ入つたウチワ太鼓を捕へ連れ去らうとしたが、〝あの車は（あな一車）嫌やだ、前のに乘る〟と、丁度二台來てゐた普通車に悠々と乘り込んで警察へ連れられて行つた、山田忠さんの話によると、この男は青森縣出身（昭和八年十一月渡航）の本名平田成正（五九）といひ、日本から來た時既に頭に異狀のあつたもので、四ヶ月貝殼町に來たもので、領事館、會社等所構はず廻り歩き、いくら說諭しても効き目なく、領事館でも持て餘してゐたが、今度は忠さんの世話で警察から直ちにデュケリー精神病院へ收容の手續をとると、同この男には息子や孫が多く居る〟で、長男は平田某（廿七）といふが目下住所不明である

◇　◇

## 〝復活祭〟は明金曜日商店も休業

パスコア（復活祭）により各官廳、會社、銀行は本日午後は休みである、明日（金曜日）は全日休みで各商店も休業する

◇—◇—◇

## 新しき土を拓く人々 (27)

### 水野龍の渡伯 (五)

南樹

（外國）に出るとして私の頭に浮んだことは、當時の青年の誰もが思ふ樣に、北米に行つて苦學仕樣と云ふことであつた。

私は聖公教會の信徒であつた。そんならお前にクリストの話があるから話はれると、ぎやふんと參つてしまうが、此の聖公教會はクリスト御教の內最もカトリックに近い宗派である。私の進んで來た思想からすれば、最もユニテリアンに近い方であつたが、教義の上に色々な疑問があつて、一度は青山學院にも聖を求めた程なるにも係はらず、洗禮を受ける程にならなかつた。それが日露戰爭の傷痍に飲つて、私の胸に感銘として深くしみこんでゐたのだ。

（しか）し、私などはどうしても神よりも惡魔の方に近寄つてゐると見へて、東京九段下の聖公會主宰監督であるから、カトリック教ならばいざまにバッパの地位を讓ふ資格のあるビショップである。

（タッ）カー牧師は今日全米の信徒だなどと云ふならば、冒瀆も甚だしい次第で、憤慨この限りである。

しかし、私に聖公會の洗禮を授けてくれたタッカー牧師が私の範疇外に出る一つの原因になつたのであるから、世の中の縁と云ふものは妙なものである。

（タッ）カー牧師は聖公會主宰監督であるから、カトリック教ならばいざまにバッパの地位を讓ふ資格のあるビショップである。

タッカーは、英國宗教會の信徒であつた。築地のセント・ポール中學校の先生をしながら、飯田町教會の牧師であつた。住宅は築地居留地で、歌舞伎座の前を通る道一本筋町の方から折れて這入ると、赤レンガ造りの蔦かづらを這はした家の二階に住んで居た。讀書家であるタッカーは、色々と此の二階で思索で、私の愚問に答へてくれた。私は今でも明るいあの室の窓ガラスにかけた白いカーテンを通して這入る日光に透き通るような綠をひらめかして、かさこそとそよぐ蔦かづらの音をなつかしく覺えて居る。

（彼は）、ヴアジニヤの神學校で勉强したらどうかと云つてすゝめた。私は牧師にならうとは思はないと云ふよりも、そんな素質も資格もありさうもないから、確然たる決心はつかないが、しかしとにかくタッカーの紹介でヴイリヂヤナへ行つた上、處決しようと云ふことにした。だから私が最初に取つた旅券は「宗教研究の留學業」と云ふことであつた。旅券も下附され、仕度も出來たが、私は結膜炎で除の裏が例時も充血して赤かつた。或はトラホームの疑を受くる樣なことがあつてはならないと云ふことで、當時有名な眼科醫には不見て貰つた。和歌よみの井上通泰は、トラホームで無いと云ふ證明を書いて遣らうと云つた。帝大の河本博士は「君の眼は日本に居れば療治の必要のない眼だから、處方箋は遣らない。君男子必ずしも北米に行く必要はないぢやないか。よせ、よせ。」と云つた。

（これ）には私も嗚つた。仕方ない。

## 南米主要國の金保有高

## 六億八千餘萬弗

### ブラジルは第四位

北米準備銀行調べのラテン・アメリカ諸國の金保有高發表によれば、全體を通じ非常な增加をなして居る、南米主要十二ケ國の金價格は一九三二年から四〇年にかけ八七パーセントの高騰を示した、即ち右主要國の金保有高は三二年の三億六千六百四十万弗から四〇年には六億八千六百九十万弗に激增を見た、併し乍ら二八年の九億二千九十万弗に比すれば、遙に減少を示したが、これはその年々のドルの金價格の如何によるもので三二年のドル金價格は、實際は、〇・四一弗であつた結果金の價格は一オンスにつき〇・二〇弗から〇・三九弗に下落、次いで三三年法律によりドルの金價格を引下げたため金の値段は一オンス〇・五九弗となつた、金保有高は一位亞國四億三百万弗、二位ウルグワイ六千七百万弗、三位ヴエネズエラ五千百万弗、伯國は四千三百万弗で南米中第四位となつてゐる

◇

北伯地帯視察の途にある南米市調査團一行は、去る七日バイア州首都サン・サルヴアドール市に到着したが、同市よりパラ州ベレン市に赴ひ、ゴム栽培事業を視察、北米經由歸朝の途に就く筈である

◇

自分の妻を友人に提供し、そのよつて得た金で他の女を漁り歩いてゐた呆れた男が聖市にある、洋裁師ルイスパルジアリといふ廿四歳の男だが、この醜態樣の御尼介になり取調べられてゐる

◇

既報、大阪商船サントス支店を襲つた二人組の泥棒の一人通稱「ココ」ことアントニオ・アロンソは天網恢々疎にして遁れさると雖も、去る七日綿護士に伴なはれ警察に自首して出た

◇

業病といはれ不治の病といはれる癩病にも、治せば治る治療法があると傳へられる、北米の一醫師によつて發見された或る療法で、既に九十八名の者が數はれたと

◇

聖市オンゼ・デ・アゴスト街の横文字マークを掲げ寶石類を販賣してゐるが、既に百數十種の應募があつた中に從分偽物がある、締切は今月一杯、翌月上旬審査發表される、一等賞は洋服地で三等まで、それ〳〵賞品がある

## 慰問袋が結ぶ數千里

### 戰線の勇士から厚い禮狀

君國のため一身をなげうつて北支の戰線を馳驅する一勇士から、遙々慰問袋に對してその贈り主に厚い禮狀が屆いた受取主は薩島縣出身の勇士伊藤義男氏で贈り主は汎リンス青年會常務書記、安田一郎氏である、以下勇士の禮狀を全文載せる

○慰文

袋を有難うございました、遙き支那中支の一角で今戰ひに明け戰ひに暮れる吾れ等銃後の一線兵士に、唯一の慰めと樂みを與へて下さいました慰問の主が、父祖國を後に遙々數千海里の彼方に渡つて海外に雄飛せられた勇士である事に、不思議な緣を感ずるものであります、今や祖國日本は東洋永遠の平和を確保する爲、聖戰三ケ年を迎へ益々多化を極めてゐます、故國を遠く離れて居られる皆樣方が、母國の爲慰問に感謝金に涙ぐましい努力をして居られるを新聞で拜見して感激してゐる者であります

（我等）兵士は、此の皆樣の熱誠なる御後援に對しても增々奮闘努力して御應へせねばならぬと覺悟を新にしてゐます、獻納の慰問袋は少しの破損もなく發送より一年半も經つてゐるのに少しの變りもありませんでした、戰友達と一緒に開いて大驚きです、遠い異國から來た慰問袋とて皆なの喜び樣も又格別です、御國の爲めに一命を捧げた兵士には、なんの邪心も慾もなく、慰問袋が一番の樂しみです、珍らしくて美しいタバコの箱を前へ眺めると、日に二箱も吸ふ大の愛煙家の僕でさへ吸つてしまふのが惜しい樣な氣持です、

タバコの少なかつた戰友が「オイ寄來せ」と奪ましがり、余り欲しがるので皆んなで分けました

（僕の）故郷は海外雄飛者の多い廣島縣です、同封の寫眞の如く獨つてほがらかな元氣者です、頂いた慰問袋を手に戰友に撮つた寫眞

同勇士

（寫眞はヴアルガス大統領と石射大使）

## 銀紙集めて

### 母國へ献納

北パラナ州ローランヂヤの小學生達が小さな赤誠に燃えて集めた銀紙は過去數度に亘つてサントス日本人會の手經て母國へ送附したが、今度も赤若干の銀紙を集めタドしい手紙に綴き感激の情をこめて母國への送附方を依頼して來た、これを集めた經緯は子供達の學校の行き帰り、遊んでゐる間中、或ひは夜に集め廻る等々苦心して寄せ集めたものであるといふ、赤誠の銃後小勇士達は別府重巡君、小坂双葉さん、同みどりさん、小池司郎君、イワクラ、トシヲ君、トヨダエツコさん、國田ルイス君、國田ベネヂット君、崎山清松君、丸石貞子さん、丸石花子さん、丸石マリナさん、丸石保君等以上十五人である

## 取消し

本紙昨日發行（二千四百五十號）三面六段目に「こんな馬鹿げた後援はない」と題し記載せる記事は僅數十枚印刷の際馬鹿記事の不穩當なるに氣附き紙面より削除せるも尚ほ念の爲め印刷配達數十枚に對し其記事の全部を取消す

## 重要商品市況

四月　八日

| | 買値 | 賣値 |
|---|---|---|
| ◎バタタ | 六〇キロ | |
| アマレーラエスペシアール | 賣宅 | 賣宅 |
| ◎小麥粉一級 | 五〇〇 | 五四〇 |
| ファリンニヤ | 五〇キロ | 五四〇 |
| マンヂオカ | 二五 | 二五 |
| 砂糖 | 六〇キロ入 | |
| 極上 | 七二、 | 七三 |
| 上等 | 六九、 | 七〇 |
| アルファファ | 一キロ | 一二〇 |
| ◎フエジヨン | 六〇キロ | 六〇 |
| △新△ラチンエヨ | | |

一角から、吾れ等を慰問して下さつた事に感激してゐる事を再度申上げ、益々御自愛を祈つて筆をおきます

昭和十五年十二月五日

中支派遣村上部隊本部

平瀬隊　伊藤　義男

安田　一郎樣

## 棉の相場

サンパウロ棉花取引所建値

四月　八日

單位　十五キロ

| | 賣値 |
|---|---|
| 四級 | 四三、五〇〇 |
| 五級 全 | 四三、〇〇〇 |
| 六級 全 | 四三、〇〇〇 |

買値

| | | |
|---|---|---|
| スペリオール | 五五 | 五四 |
| エスペシヤル | | |
| ノミナル | | |
| ポン | 四六 | 四七 |
| レグラール | 四三 | 四五 |
| △コーレス | 六〇キロ | |
| プ・グラード | | |
| ノミナル | | |
| フランシンエヨ | 五五 | 五七 |
| シユンピンニヨ | 六〇キロ | |
| △ミリヨ | | |
| アマレリニヨ | 七五 | 七六 |
| アマレロ | 七五 | 七六 |
| アマレロン | 七五 | 七六 |
| △アロースアグリア | | |
| アマレロン | | |
| エスペシアール | 七七 | 七八 |
| スペリオール | 七三 | 七四 |
| ポン | | |
| ノミナル | | |
| レグラール | | |
| ノミナル | | |
| ブランコ | | |
| エスペシアール | 七三 | 七四 |
| スペリオール | 六八 | 七〇 |
| △ポン | | |
| ノミナル | | |
| レグラール | | |
| ノミナル | | |
| △キレーラ | 四三 | 四五 |
| △メイオ | | |
| カテテ | | |
| △エスペシアール | 六四 | 六六 |
| スペリオール | | |
| ノミナル | | |
| ポン | | |
| ノミナル | | |
| 豚 | | |
| ゴールド | | |
| マーグロ | | |
| ノミナル | | |
| マモナ | 五八 | 五九 |
| セボーラ・リオ・グランヂ | | |
| パンエヤ | 二〇キロ | |
| ノミナル | | |

## 蔬菜市場

四月十日（コチア產組調）

| | | |
|---|---|---|
| トマテエスペシアル | 四二 | 四六 |
| プリメーロ | 三一 | 三四 |
| セグンド | 二〇 | 二六 |
| レボーリオ | 一五 | 一八 |
| ピメントン | 一〇 | 一〇 |
| バージ | 一〇 | 一〇 |
| エルビーラ | 一〇 | 一八 |
| ポブリンニヨ | 一〇 | 一三 |
| ペピーノ | 一〇 | 一五 |
| 人參 | 一、二〇〇 | |
| 二箱入り | | |
| バタタ新 | 一〇 | 一五 |
| | 五 | 一三 |


Casa de Saúde
Dr. DANELUZZI
P. Prudente
ドツトル、グルゼル
電氣治療に手術に完備す。ミナスの病院、聖市州衛生局に經驗あり、診療所及び住宅ア・アルデンテ、ジロアキンタボラ街八七六　電話二三八
最高技術を要する外科手術
胃、肝臟、腸、盲腸炎、（ルニア）痔
サーザデ・病院
サウーザデ・ブルデンテ市

耳鼻咽喉科專門醫
ドツトル、ペルシ
聖市ロン・デ・ヴブラフト街八九
山田齒科療院
電話二一七五〇八
（中央メルカード際）

Dr. R. P. Silva
Cirurgião Dentista
聖市イルマン
シンプリシアナ街
一五〇番二層
齒科
大久保

キンイトツロオ乃
優良價廉
2オンス入　5$
遠藤書店
ライブラリ代理店

ARMAZEM KAIKO LTDA.
SECÇÃO DE ADUBOS
Caixa Postal, 1602 São Paulo
肥料
骨粉　海興
マタドール
米糠　等各種
肥料大量揃へて居ります
此の際多少に拘ず御用命の程願上げます

看護婦
看護婦
右至急募
希望の方は毎日午
サンパウロ市
（日曜）
コチ

急募
料理の出來る夫婦者
但しリオ行、身元確實な方
高給を支給す
御照會は左記へ
聖市タバ

各種紙函製造
聖市ドトール
ルンド街七一
加納工場
見習工入用
通勤の方
御一報次第カタログ御送呈仕候

◎懷しの兄樣に逢ひ度し◎
昭和五年九月サントス入港モンテビデオ丸便乘、元ソロ線アグードス驛ポレビノ附近に在住香川縣人森好行樣、森眞一樣！何うしても一ぺん逢ひ度く御知合の方は御手數乍ら御一報煩度御依頼申上ます。北パラナ・ローランヂア驛富士植民地　平野貴妹トヨ子

快活と樂天
身體常態の時は常に快活樂天的なものであります。然らざる場合は自己診斷にて又自身にて不明の場合は醫者の診察を乞ひ、憂鬱神經衰弱は他の病氣に原因するか、單なる體液の化學變化に基づくかを明かにすべきです。後者の場合の大部分は食事の變化攝を主成分とする藥劑を服用すれば治癒致します。葡萄糖の不均衡又は燐分代謝作用の不均勢は身體に燐不足時同樣神經衰弱の原因です。凡代醫學には兩病症の場合の治療法があります。其内燐不足の場合の治療は頗る容易。トノフオスフオン（Tonofosfan）の注射數本をなされたならば最初の二四時間で顯著な効果を得られます。

Redação — Rua Fagundes, 198
Telephone 7-4570
Caixa Postal H
Director Masahiro Samesima

# NOTICIAS DO BRASIL

Proprietario SEISAKU KUROISHI

Assignatura Anno ..... 60$000
Semestre ... 30$000
Numero de dia .... 300 reis
Gerente S. Kuroishi
Redator-chefe M. Yendo

ANNO XXIV — S. PAULO — QUINTA FEIRA 10 de ABRIL de 1941 — DIARIO No 2451

## Distincção conferida ao Presidente Vargas por S. M. o Imperador do Japão

### Entregue ao Chefe da Nação o "Grande Collar da Ordem Suprema do Chrysanthemo" — Solennidade realizada no Palacio Rio Negro, em Petropolis

RIO, 8 (Pelo telephone) — O Japão, lendario paiz do Sol Nascente, tão ligado ao nosso povo por vinculos de solida amizade, acaba de prestar ao Presidente Getulio Vargas a maior e mais significativa homenagem que tributou a um estadista, conferindo a s. exc. o «Grande Colar da Ordem Suprema do Crysantemo» em reconhecimento ao seu trabalho de fraternidade e de aproximação entre as duas patrias.

Esse gesto do governo e do povo japonez alcança, dessa fórma um relevo excepcional, valendo, ao mesmo tempo, como um applauso á politica de diplomacia e de patriotismo que o Chefe do governo vem desenvolvendo á frente dos destinos do Brasil.

A cerimonia da entrega dessa importante insignia teve lugar esta tarde, no Palacio Rio Negro, em Petropolis, com as honras do protocolo.

O embaixador Itaro Ishii, especialmente credenciado pelo imperador Hirojito, uma vez que essa commenda só pode ser entregue pelo imperador, para esse fim chegando á residencia de verão do Chefe do governo, foi ali recebido pelo commandante Isaac Cunha, que o conduziu ao salão de palestra.

O sr. Presidente Getulio Vargas, no salão nobre, em companhia dos srs. general Francisco José Pinto, Andrade Queiroz, commandante Octavio Medeiros, Decio Cintra, major F. de Mattos Vanick, capitão Manoel dos Anjos, commandante Angelo Nolasco, momentos após recebeu as saudações do embaixador Itaro Ishii, que trocando momentos de cordial palestra, entregou a s. exc. o Grande Colar da Ordem Suprema do Crisantemo.

Nessa occasião o representante diplomatico do Imperio do Sol Nascente, accentuou a sua satisfação em interpretar o sentimento do governo e do povo da sua terra, salientando que aquella commenda é a mais valiosa que o Japão possue para testemunhar a sua admiração e o seu reconhecimento.

O sr. Getulio Vargas confessou a sua gratidão, pedindo ao embaixador Ishii que apresentasse ao imperador Hirojito o preito de sua estima.

Tambem a mensagem do imperador japonez foi entregue ao Chefe da Nação em rico pergaminho. Depois de palestrar alguns minutos com o Chefe da Nação, o embaixador do Japão retirou-se, recebendo á sahida as mesmas honras com que fôra recebido.

O 1.º Batalhão de Caçadores prestou as continencias de estylo, tendo sua banda de musica executado os hymnos nacionaes do Japão e do Brasil.

## Visita do sr. dr. Adhemar de Barros ao Gabinete de Investigações

O sr. dr. Adhemar de Barros, illustre Interventor Federal, acompanhado do dr. J. Carneiro da Fonte, chefe de Policia, ante-hontem, á noite, esteve, em visita de inspecção, no Gabinete de Investigações da Policia estadual.

S. exc., acompanhado pelo dr. Carneiro da Fonte e dr. Augusto Gonzaga, operoso chefe do importante departamento policial da rua dos Guimarães, visitou demoradamente todas as suas delegacias e demais dependencias, encontrando tudo em perfeita ordem e funccionamento, o que causou optima impressão ao sr. Interventor.

Após a visita ás varias secções do Gabinete de Investigações, o sr. dr. Adhemar de Barros, na sala da chefia, manteve longa e cordial palestra com o dr. Augusto Gonzaga e com os delegados especializados.

Nessa occasião, o illustre sr. Interventor Federal teve opportunidade de referir-se á construcção do Palacio da Policia, grande melhoramento com que pretende tornar ainda mais efficiente a nossa organização policial, que tão abnegadamente vem prestando os mais relevantes serviços a São Paulo, na missão espinhosa e difficil de manter a ordem, evitar crimes e entregar á Justiça delinquentes perigosos.

Ao retirar-se, s. exc. e o sr. chefe de Policia foram acompanhados até a sahida do Gabinete pelo dr. Augusto Gonzaga, delegados e altos funccionarios daquella importante repartição.

## Prosegue a grande obra philantropica da exma. sra. d. Leonor Mendes de Barros

### A PRIMEIRA DAMA PAULISTA DISTRIBUIU, HONTEM, MAIS 16 CONTOS A INSTITUIÇÕES DE CARIDADE

Proseguindo no seu admiravel programma de assistencia aos pobres, a exma. sra. d. Leonor Mendes de Barros reuniu, hontem, ás 17 horas, no seu gabinete de trabalho, representantes de diversas instituições de caridade desta capital e do interior do Estado.

Do donativo de 70 contos, recebido na gerencia da Empresa Serrador, a primeira dama paulista distribuiu mais a importancia de 16 contos ás seguintes organizações philantropicas:

Asylo São Vicente de Paulo, Associação dos Sanatorios Populares de Campos do Jordão, Sanatorio São Paulo, Casa da Criança, Sanatorio Ebenézer, Asylo Bom Pastor, Asylo Divina Providencia, Obras do Berço, Casa do Actor, Albergue Nocturno, Instituto Padre Chico, Asylo Santo Antonio de Campos do Jordão e Asylo São Vicente de Paulo de Franca, 1 conto de réis a cada uma; e ao Abrigo da Preciatura para Tuberculosos, em Campos do Jordão, Orphanato Christovam Colombo, Casa Pia São Vicente de Paulo e Assistencia Vicentina aos Mendigos, foi destinada a quantia de 500$000 a cada uma.

Depois da distribuição, a exma. sra. d. Leonor Mendes de Barros foi muito cumprimentada pelos presentes, que lhe externaram os mais sinceros agradecimentos e a mais carinhosa admiração pelo muito que vem fazendo em favor das classes pobres.

## O chefe do gabinete do ministro do Trabalho em São Paulo

Encontra-se desde segunda-feira ultima em São Paulo o dr. Abel Ribeiro Filho, chefe do gabinete do sr. Ministro do Trabalho.

Chegando pelo primeiro avião da «Vasp», o dr. Abel Ribeiro Filho esteve na séde da Delegacia do Instituto dos Commerciarios neste Estado, em visita de amizade ao respectivo delegado, dr. José Armando Affonseca, em companhia de quem percorreu as secções daquella repartição, sendo apresentado a todos os chefes de serviço.

No Jockey Clube, o dr. Luiz Mezzavilla, delegado do Ministerio do Trabalho em São Paulo, homenageou o illustre visitante com um almoço, no qual tomaram parte, tambem, o dr. José Armando Affonseca, dr. Jacy Magalhães e dr. Dino Ferreira, representante do Ministerio do Trabalho, Industria e Commercio na Exposição de Montevidéo.

A noite, o dr. José Armando Affonseca e sua esposa, d. Lêda Affonseca, offereceram ao dr. Abel Ribeiro Filho um jantar intimo no Automovel Clube.

## 33.o Anniversario de Fundação da Associação Brasileira de Imprensa

### MENSAGEM DE SAUDAÇÃO DIRIGIDA AOS JORNALISTAS DO BRASIL

RIO, 7 (Pelo telephone) — A Associação Brasileira de Imprensa, por nosso intermedio divulga a seguinte saudação, dirigida aos jornalistas do Brasil, na data commemorativa do 33.o anniversario de sua fundação:

«A Associação Brasileira de Imprensa completa hoje o 33.º anniversario. Ao commemoral-o, tem a sua casa erguida, realizando a velha aspiração da classe, cumprindo uma promessa que assumira quando surgiu animada pelo idealismo de Gustavo Lacerda e seus companheiros.

No caminhar dos 33 annos, sua flammula jamais se abateu ao influxo das marés altas e baixas, mantendo-se sempre galharda e altiva, como expressão de unidade da classe, do seu merito e da sua dignidade.

A Associação Brasileira de Imprensa relembra no dia de hoje todos os seus companheiros, mas destaca as personalidades de Dunsche de Abranches, Dario de Mendonça, Belisario de Sousa, Alfredo Neves, Francisco Souto, João Mello, Raul Pederneiras, Gabriel Bernardes, Barbosa Lima Sobrinho e Paulo Filho, que a presidiram em periodos differentes, sustentando-lhe o prestigio e abrindo o caminho da sua prosperidade e progresso.

Alguns ainda vivem synchronizados á nossa sympathia e á grossa vida. Outros, tombados pela morte, continuam, tambem, vivendo na nossa eterna recordação.

A data de hoje, pois, tem uma significação especial, não apenas para a Casa do Jornalista, senão ainda para todos os mourejadores da pena e profissionaes da imprensa, aos quaes enviam ella e o seu presidente a mais cordial felicitação».

## Exportação de mineiro de ferro

RIO, 7 (Pelo telephone) — O coronel João Mallet de Sousa Aguiar, que foi aos Estados Unidos effectuar negociações com as firmas interessadas na compra do nosso minerio e na venda de locomotivas e vagões, falando á reportagem sobre sua missão naquelle paiz, declarou que a mesma foi coroada de completo exito.

Com a construcção de 180 kilometros de estrada de ferro, as zonas productoras de minerio proximas a Bello Horizonte ficarão á borda de um porto de mar, isto é, desembocarão seus productos em Angra dos Reis.

O governo federal — frisou o sr. coronel João Mallet — autorizou a construcção desse trecho e a concessão foi autorgada á Companhia Mineira de Estrada de Ferro, que possue um capital realizado de 190.000 contos de réis.

O projecto — proseguiu o coronel Mallet — desde que seja executado, proporcionará occasião para se concluir com o estrangeiro as negociações para uma exportação de 3 milhões de toneladas de minerio de ferro e 500 mil de manganez, annualmente.

## LITURGIA DA SEMANA SANTA

Continuamos a dar, hoje, aos nossos leitores, alguns decretos interessantes sobre a liturgia da Semana Santa, baixados pela Santa Sé Apostólica —

QUINTA-FEIRA SANTA

1.º) Pode-se cellebrar Missa rezada onde não se fazem as funções da Semana Maior?

Resp. Negativa.

2.º) Na quinta-feira a hóstia consagrada para a Missa dos Presantificados não pode ser exposta em tabernáculo munido de vidros de tal modo que se possa ver o cálice coberto; deve o tabernáculo ser fechado de todos os lados; o costume contrário deve ser eliminado. (Dec. 3600 ad 1).

3.º) O SS. Sacramento não pode ser exposto ao cálice ou pixide cobertos, senão quando se fazem as outras funções da Semana Santa (Dec. 3616).

4.º) Se não houver nenhuma função, a pixide pode ser conservada em seu altar, até o ocaso do sol, para que os fieis, em lugar do sepulcro, possam vir adorar a SS. Eucaristia (Dec. 3717 ad 3).

5.º) A chave do tabernaculo ou do sagrado sepulcro não pode ser dada ao Juiz... ou a outro leigo de qualquer dignidade... Mas deve ser dada ao Sacerdote que vai celebrar no dia seguinte (Dec. 2830-2004).

CERIMONIA DO MANDATO

O púlpito para a cerimonia do lava-pés deve estar nú, sem nenhum ornato (Dec. 2811 ad 3 et 4).

SEXTA-FEIRA SANTA

Desde o começo da adoração até Nona do Sábado Santo, deve-se fazer genuflexão á cruz (Dec. 2759 ad 5).

SÁBADO DE ALELUIA

1.º) O Exultet deve ser cantado pelo Diácono da Missa, salvo indulto (Dec. 2531 ad 2).

2.º) Onde há costume, pode-se distribuir a SS. Eucaristia intra Missam no Sábado Santo? E cumpre-se por esta comunhão o preceito pascal? Resp. Afirmativa a ambos (Dec. 2561).

3.º) No Sábado Santo, nenhuma igreja pode repicar os sinos antes da Catedral, ainda mesmo que a cerimonia tenha lugar mais cedo.

DOMINGO DA RESSURREIÇÃO

As imagens ou figuras do Ant. Test. não podem ser levadas em procissão com o SS. Sacramento (Dec. 2879); o mesmo se diga a respeito das imagens ou reliquias de Nossa Senhora e dos Santos (Dec. 3997).

## Visita do presidente da Rural Brasileira ao Nucleo Agricola de Santa Cruz

RIO, 8 (Pelo telephone) — Pelo 3.º avião da «Vasp», regressou, hoje, a S. Paulo, tendo concorrido embarque, o dr. Luis Vicente Figueira de Mello, presidente da Sociedade Rural Brasileira e delegado da lavoura paulista ao Convenio Cafeeiro.

Hontem o dr. Figueira de Mello esteve em visita ao nucleo agricola de Santa Cruz, colonizado por agricultores de varias nacionalidades, inclusive brasileiros, sob a direcção e super-visão do Ministerio da Agricultura.

Em companhia do coronel Virjato Vargas, do dr. Gastão de Faria, director do Fomento Agricola do Ministerio da Agricultura e do director de Terras e Colonização, o presidente da Sociedade Rural Brasileira percorreu todas as installações do nucleo, colhendo a mais lisonjeira impressão, tendo expedido um telegramma de congratulações ao sr. Presidente da Republica, pela obra que teve opportunidade de conhecer.

## Conselho Federal do Commercio Exterior

RIO, 8 — (Pelo telephone) — Em resolução approvada pelo sr. Presidente da Republica, o Conselho Federal do Commercio Exterior deliberou que se solicitasse das autoridades competentes providencias no sentido dos consulados brasileiros na Allemanha adoptarem, para a conversão em dollares americanos dos marcos de compensação, a paridade entre os valores das duas moedas em mil réis, de accordo com as comunicações semanaes do Banco do Brasil, bem como que os serviços de estatistica procedessem á correcção dos valores do intercambio commercial do Brasil com aquelle paiz.

O Serviço de Estatistica Economica e Financeira, de accordo com essa decisão, mandou que se procedesse á apuração do commercio com a Allemanha, tomando-se por base as cotações fornecidas pelo Banco do Brasil, obedecendo-se o mesmo criterio de modo geral, no intercambio de moeda bloqueada.

Foi tambem determinado que se procedessem á correcção das estatisticas do commercio teuto-brasileiro, já publicadas, realizando-se as cotações do marco de compensação.

Adoptadas essas providencias, voltou o processo ao gabinete do sr. Ministro da Fazenda, para deliberações complementares, no tocante aos valores que devem ser declarados nas facturas consulares.

## MINISTRO FERNANDO COSTA

RIO, 8 (Pelo telephone) — A fim de passar a Semana Santa em Pirascununga, embarcou, hoje, para esse Estado, pelo «Cruzeiro do Sul», o sr. Fernando Costa, Ministro da Agricultura, acompanhado de sua exma. esposa e do prof. Mello Moraes, director geral do Centro Nacional do Ensino e Pesquisas Agronomicas.

## Forragem barata para os rebanhos do Brasil

RIO, 7 (Via Vasp) — Em consequencia da calamidade que assola a Europa, com reflexos perniciosos á economia de varias nações, houve desapparecimento quasi completo de mercados para determinados productos.

Está nesse caso o farello de trigo, que o Brasil, antes da guerra, enviava para o exterior com vultosa quantidade, attingindo a médida annual as ultimas exportações a 130.000 toneladas. Esse alimento destinava-se principalmente aos rebanhos da Hollanda, Dinamarca e Allemanha, que nelle encontravam um optimo recurso forageiro, por preço razoavel.

Na falta de melhor collocação para o alludido producto, um dos moinhos desta capital offereceu alguns sacos á Secção de Agrostologia de Deodoro, do Ministro da Agricultura, para experimental-o como adubo, na cultura de gramineas ou outros farrageiras.

A direção daquella secção agradeceu a offerta, objectando, entretanto, que como fertilizante o farello de trigo não se recommendava pelo seu fraco teor em azoto, phosphoro e potassa. Muito embora se promptificasse a iniciar a experimentação, lembrou que, a seu ver, a solução para enfrentar a crise consista em fomentar o augmento do consumo do farello de trigo como alimento, reduzindo o respectivo preço de venda.

Isso foi conseguido, pois o farello de trigo está sendo vendido, mais ou menos, á razão de 50 réis o kilo, preço esse muito inferior ao que anteriormente era pago pelos criadores. A Divisão de Fomento da Producção Animal, tomando conhecimento do assumpto, está procurando incrementar seu emprego, especialmente entre criadores de gado leiteiro e suino-cultores.

Agora, mais do que antes, recommenda-se seu uso, devido a approximação da estiagem, que nos dois ultimos annos assumiu aspecto de evidente gravidade para os nossos criadores, ra obviar a falta de forragens nativas, que brevemente começarão a escassear, é aconselhavel recorrer ao farello de trigo, não só pelas qualidades que a resenta como alimento para o gado, como tambem em razão do seu baixo preço de custo.

## Chefia do gabinete do sr. Ministro da Viação

RIO, 8 (Pelo telephone) — Convidado para substituir o major Alencastro Guimarães, na chefia do gabinete do Ministro da Viação, o major Nelson de Mello não acceitou o convite.

Ao que consta, em face da recusa irá chefiar aquelle gabinete o engenheiro Victor Tam, que ha pouco regressou dos Estados Unidos, onde esteve em missão do Ministerio da Viação.

## 農業界の一

### 銅剤に弱い果

#### ボルドウ液の濃度

#### 農藥界の

最近品種改良が重ねられた結果、果物は藥剤に對する抵抗力が非常に弱い、一例を擧げると新しく日本から輸入された梨、桃等は特に弱いことが實驗されてゐる、在來の紅甘夏日柑と同樣に考へて殺菌把に作り上げたボルドウ液をブッカケると忽ち葉が枯れ、果皮が變け見るも哀れなる變となるから大變である

これが原因は硫酸銅の不完全中和による酸性の害か或は石灰用量の過剩によるアルカリ性による被害の二つに分れるわけであるが、大體に於いてブラジルに碍る同樣か作るボルドウ液は石灰用量の過剩によるアルカリ性の害が多いようである、勿論總ての果物の病害を防ぐ藥劑は一部分である

藥害を減少し殺菌度にするには必要以上に藥を濃くしないことが第一である、その理由は假物の病害菌は銅分一万分の一程度内外で完全にその生活機能を阻害されて死滅することが判つてゐる、從つて硫酸百立二一キロは實際上無數な數字ではあるが、銅藥消費量としては大變な浪費をやつてゐるわけである、抵抗力の強い假物なら良いが果物類はスプトより薄める方が安全でもあり、且つ充分効力を揮するものである

農藥界の一

### 蟻塚崩し

#### 自滅させる手段

カンボ掛つた土地を耕起して仕事をするのに一番邪魔になるシロ物は白蟻の巣、大蟻塚である、假物に對する害の程度はそこに現れないが、サウバに比べて大して遜色がないイタヅラをやる、此が征伐には

| | |
|---|---|
| アルセニコ | 一キロ |
| 水 | 二十キロ |
| の割合で配合し、苦味のない木（フイゲイラ・カプシンギー其他腐り易い水）のカンナ屑、又は藤木等に充分混して蟻塚の附近の地下に埋めて置くと良い、今から那始して置けば、別にへして手を加へずとも石より固い蟻塚も家主の修繕が無いため何時とは無しにボロ〳〵となつて自滅し、九月の耕起の季節には樂々とアラードが掛ることになる |

### 時の話題……

#### 段々畑が出來る

#### 農界にも時代の波

現在農業技術者間で最も一致し又雨量とも至大の關係を持つてゐる、之等樣々の要素を七面倒な計算で相互關係を算定しサンパウロの夏中最も雨量の多い季節を基礎にして流亡の防止法がチヤンと出來上つてゐる、詳しいことは省略し大略の處を說明すると高線に沿ひ地形に從つて深い溝を何本か作り各溝で雨水が一々停滯し、その度毎に畑表を流れる速度を緩とすることにしたものである、勿論の計算によると一アルケーリに掛る平均經費が三百ミル内外、勿論之は最初の年で二年目からは溝さらへ程度で濟むからズット經費は減少する由である

全部重曲ラクターの仕事であり最大費用は油代二百ミルであるが、最近流行のガゾゼニオ（日本では木炭車）にすると燃料費は僅かナミル内外で充分だそうである、農林省の宣傳と共に方々のアヂンダでも實地試驗希望者が各所に續出し方々に既々個々に出現する氣運が醸成されてゐる

要種子五〇〇〇トン（價格五、五七五ミルレイス其他經費一コント三百ミルレイス）の經費を掛けたが一箱二十五ミルレイス千箱貰つて廿五コントス經費を差引き十八コント百二十五ミルも殘した、實にエライ奴ドやと大した賞め方である